

小学校出前授業（伊手小学校）

今年度の小学校出前授業は、8月～12月までの間の、小学校から希望があった日時に実施しています。また、出前授業を担当するのは、普通科理系の生徒の中の、SRI（サイエンス・リサーチ I）のテーマを理科の分野から選択した生徒たちです。そして、出前授業のテーマには、各小学校の希望があったものを選んで実施しており、事前に予備実験や準備を入念に行ったうえで、各小学校に出向き、小学生たちと一緒に理科の楽しさや、不思議さを体験しています。

8月31日（月）伊手小学校（4年生5名）
テーマ：「人間だって電池になるぞ」
担当班：SR5（化学班4名）

小学生の感想

今日のじっけんで、いろいろなことがわかりました。こするとちゅうにあがるのがふしぎでした。けれどこのじっけんで分かってよかったです。あとは、人間も電気になることをはじめてしました。フルーツでんきでは、すっぱいフルーツで、でんきがとおるのをはじめてわかりました、家でもやってみたいです。

担当した生徒の感想

私にとっては初めての出前授業だった。学校で実際に実験をやってみても、うまくいかないことが多くて大変だった。出前授業本番では、実験がスムーズに成功して良かった。小学生たちから質問も出て、実験に興味を持ってくれたんだと安心した。また、このような授業の進め方など考えてみて、どうすれば小学生が楽しんでもらえるのか考えることができた。



9月2日（水）伊手小学校（3年生9名）
テーマ：「紙のブーメランを飛ばしてみよう」
担当班：SR2（物理班）

小学生の感想

作り終わって体育館に行って遊んだとき、十回だけすごくとびました。楽しかったです。作り方が分かったから、こわれても、作ってまた遊べると思いました。こわれて新しいのを作るときにいろんな色や、ちがう絵を作れるからよかったです。いつでも作れるし遊べるから、作り方を覚えてよかったです。楽しい思い出になりました。次は外でやって風がふいているときどれぐらいとぶのかをためたいです。いっぱい作りたいです。いっぱい作ってどうじになれて、一番とぶのがどれかをやりたいです。

担当した生徒の感想

今回、年の離れた人に対して何かを教えるといった体験は初めてだったので学んだことが多かった。1つ目は説明するとき、自ら実践しつつ説明することで、うまく伝わることが分かった。2つ目は、コミュニケーションの大切さである。言葉だけではなく、表情、態度によって、大きく子供たちの興味が変わることを実感した。次は、これらの点を踏まえ、さらに質の高い授業をしてあげたい。



10月6日（火）伊手小学校（4～6年生14名）
テーマ：「洗濯のりで作るふしぎな物体」
担当班：SR1（生物班）

小学生の感想

このスライムの実験を通して、もっとたくさんの実験をしてみたいと思いました。説明もとても分かりやすく上手にスライムができて嬉しかったです。そして、せんたくのりは色が変わると知らなくてびっくりしたし、初めて知ることができました。今まではスライムを作るとき、量に気を使っていなかったけれど、これからは、コップに線を引きたりして、工夫してスライムを作りたいです。そして、今回ようせんできなかつた絵具で色をつけるスライムは、実験を生かして家でようせんしてみたいと思いました。プリントにかいてあることをお手本に、しながらスライムを作りたいと思います。これからスライムを作るときは、今日のことを忘れずに作りたいです。今日はとても楽しかったし、たくさんのお話をすることができました。ありがとうございました。

担当した生徒の感想

小さい子たちにどう説明していくか、どうスムーズに実験を進めていくか、悩むことも多くあったが、子供たちなりに考え、行動して積極的に実験に参加してくれたので問題なく進めていくことができた。「のびた！」や「もっとホウ砂入れたほうがいいかな」など盛んに発言をし、どんどん想像をふくらませていく姿が現れていて、楽しく感じた。

